

住宅・拠点関係ワーキング 活動報告	担当取組項目： 1～6, 8～20, 24～26
<p>● 中古住宅の流通促進（取組項目番号 14・15 関連） （取組状況）中古住宅の流通促進システムの検討。 （課題）</p> <p>①旧耐震の中古住宅への適用：近畿不動産活性協議会による「住宅ファイル制度」や、一般社団法人移住・住みかえ支援機構による「マイホーム借り上げ制度」を援用することを想定しているが、これらの制度は、新耐震に対応した住宅に適合するものであるため、旧耐震の物件にも適応可能な制度を検討する必要がある。ワーキングでは、ニュータウン内の戸建住宅・テラス住宅各1件に対して、中古住宅のインスペクションを実際に実施した結果についての情報共有し、さらに、中古住宅流通システムは、新耐震・旧耐震にかかわらずインスペクションを必ず実施することを原則とすることを確認した。旧耐震の物件は、耐震診断を実施し、耐震診断の結果とインスペクションの結果を情報として提供することとした。</p> <p>②利用者の費用負担：「住宅ファイル制度」については、建物の状況調査や価格調査売り手や買い手に費用負担が発生するため、利用をしてもらえような費用負担の設定について検討が必要である。例えば、旧耐震の住宅については、価格調査を実施せず、建物状況調査のみを実施する選択肢をただし、建物状況調査については、買い手の関心が高い、シロアリ検査や給水・給湯管、排水管、換気ダクト、給排水・電気・ガス設備といった項目を含めて調査とすることが望ましい。</p> <p>③運営主体の検討：現在は、中古住宅の流通促進について検討する協議会を設立することが想定されている。協議会を設立できたとしても、その運営を担う事務局の体制についての検討ができていない。（今後） 特に、③運営主体の検討について、協議会の運営体制だけでなく、情報発信時における広報資料やHPの掲載資料の作成等の業務を担う主体と費用負担について十分な議論ができていない。他都市における協議会の運営体制について情報収集し、洛西NTでの運営体制について具体的に検討することが喫緊の課題である。</p> <p>● 住み替え相談（取組項目番号 13 関連） （取組状況）住み替え相談窓口の開設場所の検討、相談対応者の検討。 （課題）</p> <p>①相談体制について：これまでは、「サブセンターの活用による働く場の創出」に関連して、ファイナンシャルプランナーが、会館の一室をシェアオフィスとして利用することを検討していたが、初期の段階から専門家の常駐する相談窓口を開設することは難しいため、例えば、公社を窓口としながら、専門家（ファイナンシャルプランナーを想定）に適宜つなぐという実施体制について議論した。常設窓口が開設できないことの代替策として、専門家による住替え講演と相談会を定期的を実施することとした。</p> <p>② まちづくりとの連携：仲介手数料の一部をまちづくり（健康づくりに関わるサービスを提供）に還元する仕組みや、そのことを包括的にマネジメントする、まち会社のような組織が必要である。</p> <p>● 景観まちづくり（取組項目番号 25 関連） （取組状況）低層住宅地（戸建・テラス）における通り景観の調査。 （課題）戸建景観まちづくりの担い手の発掘、中古住宅売買時における植栽の継承方法の検討 （今後）新しい居住者の交流場として、緑道の清掃活動を実施するなど、担い手の発掘と、利用者がまちの情報を得ることが両立できるような活動を創出する可能性について検討する。</p>	
主なメンバー （敬称略）	香水義三（住まいと景観チーム）、吉岡和潔（吉岡不動産鑑定事務所）、万殿慎二（住まいと景観チーム）、安枝英俊（兵庫県立大学）、嶋崎雅嘉（アルパック）、西山亨（独立行政法人都市再生機構）、山根慎吾（京都市住宅供給公社）、平井淳史（洛西支所地域力推進室）、秋山龍哉（洛西支所地域力推進室）、矢田部衛（都市計画局まち再生・創造推進室）、池田均（都市計画局都市総務課）
今年度取り組む 取組項目番号	14 住宅ファイル制度・インスペクション制度の推進 15 中古住宅の評価を反映できる金融商品の開発
今年度の 主な活動内容	① 平成30年4月27日 平成30年度第1回住宅・拠点WG開催 住み替え・空き家相談会等について ② 平成30年6月8日 平成30年度第2回住宅・拠点WG開催 住み替え・空き家相談会等について

	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会の実施時期（10月初旬で調整） ・相談会の構成（第1部…住み替え・空き家防止に関する講演会， 第2部…個別相談会の実施）
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住替えに関する講演・相談事業の実施 今年度内に相談会を数回実施し，講演内容や個別相談事例のマニュアル化を目指す。 ○ 運営体制の検討 自立に向けた体制のあり方の検討

子育て関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
7, 27～37

これまでにワーキンググループを5回開催している。

● 木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」(取組項目番号7, 29関連)

(取組状況) 洛西支所1階ロビーに、京都市内産の木材を使用した子育て支援スペース(以下「スペース」という。)を設置するため、平成29年9月に公募型プロポーザルにより委託業者を選定した。

委託業者が作成したレイアウト案に対して、地域住民団体や子育て支援団体等から意見をいただくために、平成29年10月16日(月)、17日(火)に第1回ワークショップを、11月2日(木)に第2回ワークショップを開催し、その結果を踏まえて、最終のレイアウトを決定した。

平成30年3月3日(土)には、完成したスペースにおいて、オープン記念セレモニーを実施し、また、永田萌こどもみらい館館長による「親子で絵を見て遊ぼう!」や地域の子育て支援団体「つどいの広場ま〜ぶりんぐ」による「親子ふれあい絵本♪うた♪あそび」などのイベントも併せて開催した。

平成30年度については、5月17日(木)、これまで支所の会議室で開催していた「ま〜ぶりんぐ in 洛西支所」を、スペースに場所を移して開催した(参加親子:17組)ほか、6月14日(木)には、洛西読み聞かせの会による「えほんとうふれあおう!」を、子どもはぐくみ室での8か月児健診に合わせて試験的に実施した(参加親子:8組)。

また、1歳半からの未就園の子どもと保護者を対象に、京都市久世保育所が京都市営保育所地域子育て支援拠点事業として本年度から実施する「ぐんぐん☆ぷらす」を、支所管内の児童館と子どもはぐくみ室の共催の下、スペースにおいて実施する。(毎月第2月曜日実施。1回目は6月11日(月)に実施済み。今後、内容等により、支所子どもはぐくみ室の保健指導室にて実施する場合あり。)

(課題)引き続き、スペースにおける定期的なイベントの開催等を検討していく必要がある。

(今後)6月28日(木)、1歳半児健診に合わせて「えほんとうふれあおう!」を試験実施するほか、「ま〜ぶりんぐ in 洛西支所」を7月19日(木)に開催予定。

また、スペースの愛称募集も検討する。

● 洛西ニュータウンにおける病児保育のニーズ調査のためのアンケート実施(取組項目番号28関連)

(取組状況)病児保育サービスの実施に関する検討を進める上で、病児保育に対する具体的なニーズの把握を行うため、アンケート調査を実施することとし、アンケートの具体的な内容について議論を重ねている。

実施方法は、スマートフォンなどで手軽に回答できるようにインターネットを想定しているが、紙媒体でも並行して実施する予定である。紙媒体のアンケートは、児童館や保育園などに協力いただき、回収ボックスを設置することなどを検討している。

(課題)アンケートの結果をどのように活用していくのか検討が必要。

(今後)アンケートの実施時期は、平成30年度前半を目途に検討中。

● 洛西ニュータウンに必要な子どものセーフティネットの検討(取組項目番号31関連)

(取組状況)子ども食堂にとらわれず、洛西ニュータウンの子どもたちにどのような課題があるのか、また、それらの課題に対してどのようなセーフティネットが必要なのかということについて、ワーキング内でワークショップを開催するなど、情報交換及び現状把握を行っている。

(課題) 必要なセーフティネットを具体的に検討することと併せて、実施主体の掘り起こし作業が必要。

(今後) 引き続き、必要なセーフティネットやその内容についての議論を深める。

● 京都経済短期大学と洛西ニュータウンの小学校との連携による教育プログラムの検討（取組項目番号33関連）

(取組状況) 京都経済短期大学学長，育みサポーター，洛西支所とで検討し，対象校をまずは新林小学校と境谷小学校に絞ったうえで，平成29年度末から30年度初頭にかけて，各校の校長と打合せを実施した。

その結果，まずは各小学校で実施している土曜学習，放課後学び教室，部活動等の課外学習に大学生が試験的に参加することにより，小学校と大学生の関係づくりを行いながら，具体的な連携内容やスケジュールを検討していくことで合意した。

平成30年6月には，境谷小学校の土曜学習において，コンピューターを使った漢字学習の支援を行ったほか，新林小学校の放課後学び教室において，本の読み聞かせを行った。

(今後) 今後，小学校と大学生との関係が構築されていく中で，大学生のスキルを，小学校のニーズにより生かすことのできる活動につなげられないか検討していく。

● ママパパのまちとのつながり支援チームの立上げ（取組項目番号34関連）

(取組状況) 子育て等を機に一時的に離職し孤立しがちなパパやママが，自身が就職時に身につけたスキルやノウハウを生かして，社会との接点を持ち続けられる機会を創出するための推進組織「ママパパのまちとのつながり支援チーム（まちつなチーム）」の立上げの取組が，平成29年度の洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業補助金（活動スタートアップ支援枠）の交付対象事業に決定した。

子育て中のママやパパのチラシ作成やデザインのスキルアップを目的として，平成29年9月21日（木）に，プロのデザイナーを講師に迎えて，「プロから学ぶ！パッと目をひくチラシづくり講座」を開催した。

平成30年初頭から，洛西ニュータウン内の複数の団体や施設に対して，活動において困っている点や手伝ってほしいことなど，まちつなチームへのニーズを把握するためのヒアリング調査を実施している。ヒアリング調査の中から，現在，福祉分野におけるボランティアのニーズ，事業に対するアドバイスなどの必要性などを確認しており，人材とのマッチングに向けた取組を検討する予定。

平成30年2月13日（火）には，スキルアップ講座の2回目となる「想いが伝わるチラシづくり講座」を開催した。

平成30年度の西京区地域力サポート事業補助金に「草の根活動支援枠」で申請中。

(課題) 組織の体制，運営方法などを具体的に検討していく必要がある。

(今後) ・ ママやパパのスキルを生かして，どのような仕事とのマッチングを図り，まちとつながることができるのかを探るため，地域の団体や企業に対して，ニーズの把握のためのヒアリング調査を継続して実施する予定。

・ 洛西支所1階の子育て支援スペースのサイン表示や周知チラシ等の作成で連携が図れるか検討を進める。

主なメンバー (敬称略)

によつきつき：大内田 恵美子
ラクセーナ商店会事務局：大島 俊哉
つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀
マミーズアップ：坂本 景子
しぶ柿文庫：片山 静江

	<p>のはらくらぶ：佐藤 洋子 らくさいスコーレ：玉手 優子 京都市久世保育所：國吉 啓太，田村 優梨子，井尻 千晴，高橋 知里 木の実保育園：黒住 木末 新林児童館：小倉 真由美 福西児童館：高橋 睦巳 京都市西京区境谷学区民生児童委員協議会：吉川 博美 京都市ユースサービス協会：米原 裕太郎 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史，秋山 龍哉 西京区洛西支所子どもはぐくみ室：藤森 紀行，藤井 有紀子 都市計画局都市企画部都市総務課：池田 均</p>
今年度取り組む 取組項目番号	<p>7 子育て支援情報の発信拠点の設置 28 病児保育サービスの実施についての検討 29 子育て支援団体等と子育てファミリーとのマッチングイベントの開催 31 子どものセーフティネット活動の推進等について 34 「洛西ニュータウンパパ・ママさんデザインチーム（仮称）」の設立</p>
今年度の 主な活動	
今後の予定	平成30年7月中を目途に第6回ワーキングを開催予定

これまでにワーキングを4回開催している。

● 竹林公園内「子どもの広場」の整備素案の作成（取組項目番号57, 60, 64関連）

（取組状況）上記広場の、子どもの楽園（仮称）への再整備に係る素案の作成に当たり、具体的な意見集約を行っていくことを目的として、平成30年2月4日（日）に竹林公園にて、子どもたちを対象とした第3回ワークショップを開催した。事務局を含めて55名の参加があり、子どもの広場でたこ揚げや宝探し、豆まきを行っていただいた後、家族単位のグループに分かれてもらい、将来、子どもの広場がどんな場所になったらいいか、将来の「夢マップ」を描いてもらった。

平成29年度末には、計3回実施したワークショップで得た意見を基に、事務局にて、子ども広場の再整備素案を作成した。

（今後）再整備の子どもの楽園（仮称）において、継続的にプレイパークが開催される仕組みを検討するため、住民や有識者等とも連携し、プレイパークの管理運営の体制案や運営マニュアルの作成を行う。

また、具体的な整備に向けて、平成30年度に対象地の測量及びランドスケープ（広場空間）の基本設計を実施する。

（次年度以降の予定（現時点））

平成31年度 ランドスケープの実施設計、建築物の基本設計・実施設計

平成32年度 施行

● ネイチャーパーク@らくさいの実施（取組項目番号64, 65関連）

（取組状況）平成29年度の洛西支所の事業として、地域のNPO法人、障害者就労支援団体、ボーイスカウト、読み聞かせの団体等と連携し、主に小・中学校とその保護者を対象とした冒険遊び場（プレイパーク）「ネイチャーパーク@らくさい」を以下のとおり開催した。

・ネイチャーパーク@らくさい～小畑川中央公園～

日 時：平成29年11月11日（土）午前10時～午後3時

場 所：小畑川中央公園

内 容：竹のジャングルジムや竹のジェットコースターの設置、ロープ遊び（暗夜行路）、竹のからくり装置づくり、クラフトブース、ダンボール遊び、絵本の読み聞かせ、カフェブース等

参加人数：162名

・ネイチャーパーク@らくさい～境谷公園～

日 時：平成30年3月4日（日）午前10時～午後3時

場 所：境谷公園

内 容：竹のジャングルジムや竹のからくり装置づくり、ロープ遊び（暗夜行路）、クラフトブース、ダンボール遊び、火を使った炭作り体験、カフェブース等

参加人数：290名

また、平成30年度も引き続き実施予定（年2～3回）であるが、プレイパーク内で自然観察会等も併せて実施し、洛西地域の生物多様性が学べる場づくりを行う。

（課題）住民、地域団体、事業者や行政などが連携・協力して、洛西ニュータウン内の公園で継続的に開催していく仕組みづくりを検討する必要がある。また、本取組を通じて、洛西地域の子育て環境を充実させるとともに、それを市内外に広く周知することにより、ニュータウンの交流

人口の増加，定住促進に繋げていく。

(今後) 第3回となる「ネイチャーパーク@らくさい～福西公園～」を平成30年7月15日(日)に福西公園にて開催予定。

● 小畑川中央公園等の樹木管理・施設の更新(取組項目番号66, 67関連)

(取組状況)

- ・平成29年8月から平成30年3月までの予定で，小畑川中央公園及び南緑地等において，危険な樹木の撤去や樹木の育成環境を整えることを目的として，樹木の密度を適切な状態にするための剪定・支障木等の伐採を行った。
- ・平成29年11月から平成30年1月にかけて，北緑地の老朽化したフェンスを撤去し，新しいフェンスを設置するとともに，大蛇ヶ池公園北西部の階段(パーゴラの上下)に手すりを増設する工事を行った。
- ・平成29年11月から平成30年3月までの予定で，小畑川中央公園において，老朽化したベンチ・テーブル等の施設更新工事を行った。
- ・平成30年度も現況や予算と調整をしながら，引き続き適切な樹木管理，施設更新等に勤める。

(課題) 樹木管理や施設整備等において，地域住民の意見等を聞きながら推進していく必要がある。

(今後) 地域住民や公園愛護協力会等と情報共有しながら，適切に取組を進める。

主なメンバー (敬称略)

洛西ママカフェ：青木 志織
つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀
しぶ柿文庫：片山 静江
のはらくらぶ：佐藤 洋子
株式会社おもちゃあ：辻 宣幸
洛西フリースペース：中道 秀貴
NPO法人京都発・竹・流域環境ネット：吉田 博次
公園愛護協力会(小畑川中央公園(中))：山本 長司
公園愛護協力会(小畑川中央公園(北))：高橋 進
公園愛護協力会(小畑川中央公園(南東))：福富 修一郎
公園愛護協力会(小畑川中央公園(南)) }：杉浦 秀好
公園愛護協力会(竹の里公園)
公園愛護協力会(小畑川中央公園(中央))：鈴木 綾
公園愛護協力会(大蛇ヶ池公園)：岩倉 紘一
公園愛護協力会(新林池公園)：勝本 竹彦
公園愛護協力会(境谷公園)：菅 利二
公園愛護協力会(福西公園)：中山 正紀
公園愛護協力会(境谷北ひろば)：前田 照彦
洛西ニュータウン創生推進連絡会小畑川活用検討チーム：高木 幸三
福西児童館：高橋 睦巳
西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史，山口 覚，秋山 龍哉
都市計画局都市企画部都市総務課：池田 均，齋藤 久也
建設局北部みどり管理事務所：奥村 和也，水本 貴司，山戸 伸治
京都市住宅供給公社洛西事業部：山根 新吾，土田 毅
オブザーバー：平井 義昌

今年度取り組む 取組項目番号	5 7 子どもの楽園（仮称）の再整備 6 0 園内資源の積極的な情報発信 6 4 プレイパークの開催 6 5 魅力イベントの開催 6 6 魅力ある公園再整備 6 7 緑の適切な管理
今年度の 主な活動	
今後の予定	次回ワーキングを平成30年6月25日（月）に開催予定

高齢者・障害者関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
38～41, 43～46

これまでにワーキンググループを9回開催している。

● 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信（取組項目番号38関連）

（取組状況）デイサービスセンター，障害者支援の事業所や，地域包括支援センター，社会福祉協議会，行政などが個別に情報発信を行っており，取組を推進している。

西京区地域福祉推進委員会（事務局：西京区社会福祉協議会）の29年度の取組として、「西京区福祉総合マップ」（西京区内の社会福祉施設の所在地，連絡先，Googleマップ上での位置を調べることができるマップ）を新たに作成し，平成30年3月28日（水）からインターネット上で公開している。

参考 掲載施設数

高齢者福祉施設	102箇所
障害者福祉施設	56箇所
児童福祉施設	72箇所
合計	230箇所

（課題）情報は質・量ともに豊富にあるので，いくつかの分野では情報の整理ができてはいるが，情報が必要な人に適切な情報を届けるアプローチの方法や機会の検討が不十分。

（今後）高齢者や障害者が，必要な情報をより入手しやすくするための，情報の整理と広報手段の検討（RCVの活用など）。

● 障害や障害者に関する啓発活動の展開（取組項目番号40関連）

（取組状況）地域の方が集まるイベントなどにおいて，障害者を支援する団体，ボランティアグループなどがパネル展，作品展，チラシ配布などを行い，取組を進めているほか，学校での福祉教育，区総合防災訓練への障害者の参加と啓発を進めている。また，関係者に対しても啓発を目的とした研修を実施している。

なお，前述の西京区地域福祉推進委員会では，下記のとおり「障害」をテーマにシンポジウムを開催した。

*西京区社会福祉大会の第2部として実施。

日時：平成30年3月3日（土） 午前11時～

場所：ホテル京都エミナース 平安の間

テーマ：「当事者発でつくる福祉コミュニティ」

～障害当事者と障害者福祉関係者の“思い”と“願い”～

コーディネーター：龍谷大学社会学部現代福祉学科教授 岡野 英一氏

パネリスト：

京都市聴覚障害者協会西京支部事務局次長 高山 正紀 氏

京都手をつなぐ育成会西京支部支部長 谷村 敏幸 氏

（一社）暮らしランプ代表理事 森口 誠 氏

（課題）既に取り組んでいる啓発活動をもっと広めていく機会や手段があればいいが，単に回数を増やすだけでなく，内容の充実等の観点からも検討が必要。

（今後）障害や障害者に関する住民の理解が広まるよう，引き続き，効果的な啓発の手法について検討する。

● 障害者を支えるボランティア活動の支援（取組項目番号4 1 関連）

（取組状況）西京区社会福祉協議会が、視覚障害者支援ボランティア養成講座を実施するなどして、ボランティア育成の取組を行っている。また、当事者団体がそれぞれ研修・講座を行っている。
（課題）入門講座への参加者が減少傾向にある。
（今後）障害者支援のボランティアに関心のある人を増やしていく必要があるため、裾野を広げるような取組や計画を検討していく必要がある。

● 認知症の人を支える人材育成（取組項目番号4 3 関連）

（取組状況）西京区認知症地域ケア協議会では、西京区認知症区民公開講座や専門職による研修会等を定期的に開催している。また、西京区認知症ネットワークでは、洛西管内の小・中学校における「認知症あんしんサポーター養成講座（以下「認サポ」という。）」の実施など、地域で認知症の人を支える環境づくりに取り組んでいるほか、地域ケア会議においては、徘徊模擬訓練の実施、西京区での認知症アドバンス講座の実施、認知症の人を発見して、専門機関へとつなぐ仕組みづくり・個別検討などを行っている。
その他、管内の地域包括支援センターが、地域からの要請により、学区自治連合会や学区民生児童委員会、学区社会福祉協議会などに対し認知症の講座を実施している。
（課題）より幅広い層の区民に認知症について知っていただくため、引き続き様々な対象者に対する認知症の講座等を実施していく必要がある。
（今後）引き続き、西京区認知症ケア協議会や西京区認知症ネットワークでの取組を進め、小・中学校や学区の各種団体に対し、認知症に関する講座を開催するとともに、対象者の拡大を図っていく。

* 西京区認知症地域ケア協議会構成団体

西京医師会（事務局）、西京区役所及び洛西支所保健福祉センター、西京警察署、西京消防署、西京区社会福祉協議会、京都市立中学校長会西京支部、西京区自治連合会、西京区民生児童委員会、西京区老人クラブ連合会、京都市地域包括支援センター在宅介護支援センター連絡協議会西京支部、認知症の人と家族の会、虹の会、ますかつとの会、京都市老人福祉施設協議会西京支部、西京区通所介護施設連絡会、介護支援専門員会、西京区地域介護予防推進センター、西京地域訪問看護ステーション連絡会、病院地域連携実務者会、京都府西京薬剤師会、京都市西京歯科医師会、西京コンビ二防犯対策協議会、京都経済短期大学、京都府理学療法士会、京都府作業療法士会

* 西京区認知症ネットワーク構成団体

【コアメンバー】

西京区役所及び洛西支所保健福祉センター（事務局）、
西京区及び洛西管内の地域包括支援センター、西京区社会福祉協議会

【オブザーバー】

西京医師会、京都市西京歯科医師会、京都府西京薬剤師会、西京警察署、西京消防署、
居宅・包括運営会議

● 認知症に関する啓発活動の展開（取組項目番号4 4 関連）

（取組状況）西京区認知症地域ケア協議会が、西京区認知症区民公開講座を開催しているほか、西京区認知症ネットワークでは、平成28年度らくさいさくらまつりや健康ひろば、平成29年度西京区民ふれあいまつりにおいて、認知症に関するブースを開設し、啓発活動に努めてきた。
また、認知症初期集中支援チームでは、認知症初期の方への発見及び対応を行っている。

(課題) 引き続き、地域で開催されるイベント等の機会を通じて、より多くの区民に認知症について知っていただく必要がある。

(今後) 今後も、西京区認知症ネットワークによる取組を進め、概ね年1回程度、区民対象の大規模イベントにおいて啓発活動を行う予定である。

● キャラバン・メイト（認知症あんしんサポートリーダー）の地域での活動充実につながる支援の検討（取組項目番号45関連）

(取組状況) 洛西管内においては、地域からの依頼等により、地域包括支援センターに在籍しているキャラバン・メイトによる認サポを適宜開催しているほか、小学校と連携し、小学生を対象とした講座も開催している。

(課題) 地域からの認サポの開催要請が増加していることから、京都市長寿すこやかセンターとも連携し、管内の包括支援センターだけでなく、区内のキャラバン・メイトにも積極的に認サポの開催を担っていただく必要がある、

また、認サポ受講者には、サポーターステップアップ講座をはじめとした福祉研修を受講してもらうなど、認知症や介護に関する知識をさらに高める一歩進んだ意識づくりの機会を設け、さらには、「キャラバン・メイト」要請講座の受講を促し、専門職以外のキャラバン・メイトを増やしていく必要がある。

(今後) 西京区認知症ネットワーク、西京区認知症地域ケア協議会などにおいて、地域包括支援センター以外の区内のキャラバン・メイトに対し、洛西ニュータウンや近隣地域で活動する機会を積極的に提供するための取組を検討する。

● 軽度の認知症の人が、洛西ニュータウンや大枝・大原野地域でいきいきと活動できる仕組みづくりの検討（取組項目番号45関連）

(取組状況)

- ・ 地域住民等により、軽度認知症の方が集える「認知症カフェ」の取組が行われている。
- ・ なんやかんや「大原野」推進協議会において、よもぎを大原野の特産品として育てることを目的に栽培をしている「よもぎチーム」の活動と軽度認知症の方や障害のある方をマッチングするイベントを平成30年6月3日（日）に試験的に実施した。

当日は、境谷のおれんじカフェから7名、認知症あんしんサポートリーダー1名、支援センター「らくさい」から2名の参加があり、よもぎを実際に栽培している畑を見学した後、屋内の作業場にて、よもぎの葉を取る作業を約1時間程度行っていただいた。

当日のアンケート結果等に基づき、今後、課題を精査し、この取組が定期的に行える仕組みづくりを検討していく。

(課題) 軽度認知症の方や障害のある方の課題やニーズと、受入れ先である「よもぎチーム」のニーズがある程度合致することが分かった。

今後は、経費をどう捻出するのか、といった課題やよもぎの葉取りの作業以外も行っていただくか等の詳細を引き続き検討していく必要がある。

(今後) まずは、「よもぎチーム」との連携を中心に検討していくが、同協議会の「ごまチーム」、大原野の竹林整備など、他の受入れ先の掘り起こしも行う。また、軽度認知症の方などのニーズを関係団体等にヒアリングするなどして情報収集を行う。

主なメンバー (敬称略)	京都市西部障害者地域生活支援センター「らくさい」：田中 優 京都市杵掛地域包括支援センター：内山 裕之 京都市境谷地域包括支援センター：堀 英彦 NPO法人洛西福祉ネットワーク：齋藤 信男 一般社団法人西京医師会 塚本 忠司、土井 たかし 京都市西京区社会福祉協議会：島田 尚和、小原 滉平 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部健康長寿推進課：赤木 範子
-------------------------	---

	西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部障害保健福祉課：出口 由美子 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史, 秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：齋藤 久也
今年度取り組む取組項目番号	3 8 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信 4 0 啓発活動の展開 4 1 障害者を支えるボランティア活動の支援 4 3 認知症の人を支える人材育成 4 4 認知症に関する啓発活動の展開 4 5 地域における認知症サポート活動展開の支援検討
今年度の主な活動	第8回ワーキング 平成30年5月1日(火)開催 第9回ワーキング 平成30年5月30日(水)開催
今後の予定	次回WGを早急に開催し, 6月3日のイベントの反省等を行い, 具体的な仕組みづくりを検討していく。

サブセンターワーキング関係 活動報告		担当取組項目： 42, 70, 71
<p>● 各サブセンター・会館の有効活用（取組項目番号70関連） （取組状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民アンケート調査の結果を受け、境谷サブセンターで「コンビニエンスストアの誘致」の検討 ○ 福西会館で「気軽に運動できる場の開設」に向けた試行実施 ○ 「会館の利用促進」を図るため利用料金体系の見直し <p>（課題）・コンビニについては、店舗の整備・運営に必要な幹線道路に面した土地の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に運動ができる施設については、今後の運営主体や実施場所の検討 ・会館については、夜間を含めたより利用しやすい環境づくりや、便所をはじめ施設の老朽化への具体的な対策。 <p>（今後）・コンビニについては、境谷センターにおいて、時間貸し駐車場の上部を活用した出店意向が確認できたことから地元商店会との調整や関係機関との協議を行ったうえで、公募型プロポーザルで事業者を募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に運動ができる場の開設については、試行実施の結果を、利用者アンケート等によりとりまとめ、本格実施に向けた検討を行う。 ・会館については、使用規則の見直しや便所のバリアフリー化等の施設の改修計画、改修方法を検討する。 		
<p>● 分譲店舗の有効活用（取組項目番号71関連） 第3回以降の取組なし</p>		
<p>（● 高齢者・障害者の買物実態調査実施の検討（取組項目番号42関連）は未着手）</p>		
主なメンバー （敬称略）	（商店会）増岡朝治，山村幸夫，東憲一，阿蘇俊夫，長留省悟，長谷川督，齋藤信男，久保井康二，竹井竜司 （自治連）片岡純治，長瀬純一郎，今西敏史，藤本廣志 （大学）安枝英俊 （行政）池田均，片山尚彦，秋山龍哉 （公社）西澤亨，山根新吾，土田毅，鶴川隆一	
今年度取り組む取組項目番号	70 各サブセンター会館の有効活用	
今年度の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 境谷サブセンターのコンビニエンスストア等の誘致については、平成30年4月20日に公募型プロポーザルによる活用事業者選定委員会を開催し、「ミニストップ株式会社」を共同事業者とする「キョウテック株式会社」を優先交渉事業者として選定した。現在、優先交渉事業者と基本協定書の締結に向けた協議を行っている。 ・ 「福西会館で気軽に運動できる場」の試行実施を平成30年2月14日から5月2日までの間で、全9回実施し、利用者アンケートを行った。この結果を踏まえ、事業性を検討し、サブセンターへの来訪者の増加等を目的に会館での本格実施に向けて取り組んで行く。 参加者：116名 ・ 4月1日に市住宅公社会館使用規定を改定し、夜間使用料を午後と同額に引き下げた。今後、各会館の利用促進を図るとともに、コミュニティ機 	

	能の向上等に資する具体的な活用方法を検討する。
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ サブセンターにおけるコンビニエンスストア等の実現 ・ サブセンターの会館における活用実験（気軽に運動ができる場，住み替え相談会の開催等）の実施 ・ サブセンターの活性化に向けた具体的方策の検討

観光・情報発信・エリアマネジメント関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
47～56, 72～76,
推進体制

- ・30年度から「観光・サブセンター関係ワーキング」から観光分野を切り離し、当該ワーキングに統合し、「観光・情報発信・エリアマネジメント関係ワーキング」とする。
- ・情報発信については、本年度は、京都市がPR会社（京都市の戦略的シティPR業務受託事業者）に対する委託により、関西圏メディアを通じて、ニュータウンの魅力情報を発信していく。
- ・また、西京区役所洛西支所においては、昨年度に引き続き、大阪の梅田において洛西ニュータウンへの移住促進のための動画を放映した。
- ・エリアマネジメントに関しては、「洛西地域のエリアマネジメントを考える会」と「観光・サブセンターワーキング（サブセンター部会）」とが協力して、福西サブセンターでの「気軽な運動の場づくり」が試行的に行われる予定であり、サブセンター等を活用して、エリアマネジメント主体を立ち上げていく手法などを検証している。

● 「らくさいスマートサイクリング」の実施（取組項目番号51, 52, 53, 54, 55 関連）

（取組状況）エミナース、大枝・大原野の飲食店や神社等魅力資源、地元で開催されるイベント等と連携したサイクリングイベント「らくさいスマートサイクリング」（H29年11月25日）の実施。走行参加者47名参加。洛西口、エミナースをスタートとする3つのコース（10km前後）及び各スタート地点からコースを定めないサイクルツアー。ルートが決まっているコースについては、京都サイクリング協会による先導有。参加者にはゴール後、ツアーに関するアンケート及び聞き取り調査実施。あわせて、阪急洛西口駅、らくさいマルシェ会場で洛西・大枝・大原野観光に関するアンケートの実施。

（課題）事業者が主体的に取り組む観光プログラムの構築や周遊コースの開発、観光プログラムの定着等

（今後）サイクリングイベントの成果やサイクリングイベント時に実施したアンケート等を踏まえた観光プログラム構築に向けた検討及び観光マップの作製。

● ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信（取組項目番号72, 73）

（取組状況）メディアやWEBの媒体により、ニュータウンに関する魅力情報の発信を検討する。

（課題）メディアの関心を引く、ニュータウン活性化の取組の情報提供

（今後）ニュータウンの認知度向上の魅力発信を目指す。

● 洛西ニュータウンへの移住促進のための情報発信（取組項目番号72, 73）

（取組状況）洛西ニュータウンの街並みや、地域の子育て活動をまとめた移住促進の動画を阪急梅田ビッグマンで、優しい人たちと豊かな自然をテーマにした移住促進の動画を阪急百貨店前デジタルサイネージにて放映

（課題）多くの人の目に触れる情報発信である一方、効果の検証が難しい。

（今後）より効果的な情報発信の方法を検討していく。

● まちづくり通信の発行（取組項目番号76）

（取組状況）第6号を平成29年7月、第7号を9月、第8号を12月、第9号を平成30年3月に発行（※平成28年度から定期的に発行：洛西支所管内の世帯に、全戸回覧）

（課題）タイムリーな活性化の取組の発掘・発信

（今後）30年度に4回程度発行予定

● 洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業（「推進体制②」）

（取組状況）平成29年6月～7月 募集（募集期間中に3回の事前相談会を実施）、8月 審査会、9月 採択事業決定

<p>申請事業：6事業（申請額 計1,158千円） ⇒ 全事業を採択 （課題）採択事業等の取組進捗に対する効果的な支援 （今後）30年度も引き続きステップアップサポート事業を実施 平成30年4月～5月 募集（募集期間中に事前説明会1回，事前相談会2回を実施） 7月 審査会及び採択事業決定予定</p>	
<p>主なメンバー （敬称略）</p>	<p>（29年度の観光ワーキングメンバー） 村下 恒雄 NPO法人 らくさいライフスタイル 吉田 泰基 まちづくりアドバイザー 新治 光子 洛西ケーブルビジョン株式会社 首藤 歩 洛西ケーブルビジョン株式会社 辻 宣幸 株式会社おもちゃあ 小山 良治 株式会社高島屋洛西店 大西 章 ホテル京都エミナース 大島 俊哉 ラクセーヌ商店会 永田 賢司 阪急電鉄株式会社 小川 直子 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 加藤 淳 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 西澤 亨 京都市住宅供給公社 山根 新吾 京都市住宅供給公社 赤井 明子 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 秋山 龍哉 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 （観光以外） 地域活動団体，地域事業者，行政等（予定）</p>
<p>今年度取り組む 取組項目番号</p>	<p>5 1 地域の魅力を発信する観光プログラムの検討 5 2 洛西口，桂駅等での観光情報発信 5 3 観光・散策ルートの検討 5 4 新たな観光プログラムの開発 5 5 大枝・大原野と連携した周遊コースの開発 7 2 洛西ニュータウンのイメージづくり・ブランド化戦略の構築 7 3 ニュータウンへの流入促進につながるPR活動の推進 7 4 洛西ニュータウンの暮らし・イベント情報等の発信 7 6 まちづくり通信等によるニュータウン内の情報発信 推進体制① 洛西ニュータウンアクションプログラムの進行管理を行う「推進会議」の設立 推進体制② 洛西ニュータウンアクションプログラムに基づく市民主体の取組を支援する制度の導入</p>
<p>今年度の 主な活動</p>	<p>○来訪者がニュータウン，大枝・大原野地域をサイクリング等で楽しむことができるよう，事業者と連携した観光拠点機能の検討 ・観光情報発信機能（観光マップ配布等） ・観光プログラム推進機能（レンタサイクル等） ○地域の魅力資源と連携した観光推進体制の構築検討 ・観光情報発信（観光マップ配布等） ・来訪者へのもてなし環境の整備（給水，トイレ等サイクリング客への支援策の検討，スタンプラリー等楽しみながら観光できる仕組みの検討等） ○継続的な情報発信 ・まちづくり通信の発行 ○情報発信のターゲットや発信コンテンツ等について検討する「ブランド化戦略」の構築 ・既存情報発信媒体や内容等の把握</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「魅力周知」「誘客」「移住促進」等，情報発信の目的とターゲット等を明確にし，具体的な発信コンテンツや発信内容等について検討 ○観光連携・情報発信等と連動したエリアマネジメントの展開に向け，WGで検討 ・観光プログラムの運営や情報発信等を統括し，観光・情報発信の取組を推進する体制の検討
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ○阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトと連携した観光プログラムの構築を図るため，関係事業者の参画のもと，今後の観光プログラム展開の軸となる観光案内・情報発信等拠点機能の充実について検討を進める。また，大枝・大原野地域を含めた広域的な観光展開に向け，地域の事業者・団体等との連携を強め，観光コンテンツの充実を図る。 ○効果的なニュータウンの魅力発信をめざし，住み続けたいまち，訪れたいまち等のイメージブランド化の検討を進めるとともに，情報発信体制，手法，コンテンツ等について検討を進める。 ○観光・情報発信の取組と連動したエリアマネジメントの可能性について，地域・事業者・行政が連携し，検討を進める。